

### Noichi Zoological park Volunteers ボランティアーズの活動

個性豊かに自分の持ち味を生かして活動し、イベントや動物のガイドなど、動物園をより楽しく充実したものにしています。現在16~80歳代の約50人が登録しています。

### ソーラーバイオセル

平成7年に駐車場に設置されたソーラーバイオセルで作られた電力は、園内使用電力の約5%を賄っています。このほか、施設ではさまざまな方法で省エネに取り組んでいます。

### ドリームナイト・アット・ザ・ズー

慢性病や難病、障がいのある子どもたちとその家族を閉園後の動物園に招待します。このイベントには地元の企業が、お菓子や玩具などを提供しています。

今年は**10月2日(土)**です。

### 動物サポーター制度

特定の動物の餌代を支援していただき、里親として動物たちに愛着を持っていただくとするものです。

### 肥料づくり・エコでえ〜

草食動物の排泄物やワラなどを原料に有機肥料を作っています。毎月第3土曜日の「エコでえ〜」に、この有機肥料(0.5Kg入り)を先着100の方に、園内のカラクリ時計前で無料配布しています。

# もっとZOOぞーっと…

動物園をおらんくにするには、動物たちは本来、それぞれの生息地である森や草原で生き生きと動き回り、家族や仲間と暮らしています。このような動物たちの自然な姿を可能な限り再現しようとするのが「のいち動物公園」です。動物園は、動物それぞれの個性的な毎日を感じることが出来ます。動物や自然と触れ合い、命の輝きや自然の営みに感動するのは子どもたちだけではありません。

動物たちが旬のヤマモモの実を採って食べたり、虫を追いかけて回したり、季節と暮らす「おらんくの動物園」。スタッフはもちろん、一般から募ったボランティアーズやサポーター、友の会のメンバー、地域と共に、人にも動物にも優しいさまざまな取り組みを実践しています。

ここに暮らす動物たちが、この動物園を「おらんく」と思ってくれていることを願って。

## 自然に人に動物に

自然や思いやりは、古き良き心と新しい時代の心を繋ぎ、まちの未来を明るく描きます。のいち動物公園は、人にも動物にも環境にも優しい取り組みを広げていきます。



# もっと優しく

## 進化する動物園へ

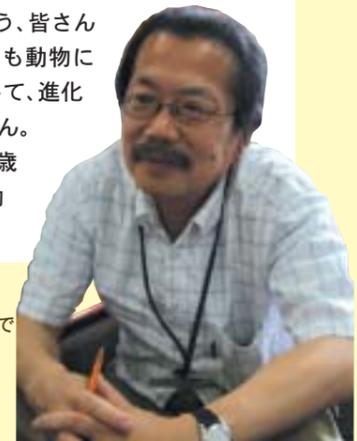
県立のいち動物公園・絹田俊和 園長

古くから市民の皆さんに里山として愛されている三宝山。その緑豊かな自然を生かし、そこに住む動物たちを傷付けまいと、工事に大変気を使ったことを記憶しています。開園当時は全国的にも先進的な施設で、開園後もハード面のリニューアルを続け、今回のハシビロコウやブチハイエナなども個性的な生活を、より近くで観察していただける工夫された展示場となっています。

しかし、施設が充実しても住んでいる動物たちが幸せでなければ、見に来られた人たちに感動してもらえないというのが「のいち動物公園」の基本です。香南市はもちろん、高知県民に「おらんくの動物園」と言っていたら、皆さんとともに「在り方」を考え、人にも動物にも自然にもやさしい動物園として、進化し続けていかなければなりません。

来年、のいち動物公園は二十歳を迎えます。ぜひ、おらんくの動物たちに会いに来てください。

■きぬた としかず  
S27年生まれ・大阪府豊中市出身  
平成元年まで神奈川県藤沢市の江ノ島水族館で獣医として勤務。県立のいち動物公園の開設に携わり、平成13年から園長を務め現在に至る。



### ふれあい教室

小学3年生までを対象にモルモットなどの小動物とふれあいながら、飼育職員がお話をします。

### 実習受け入れ

中学生・高校生の職場体験授業、大学生や専門学校生の飼育実習、学芸員資格の博物館実習などを受け入れています。

### 団体レクチャー

飼育施設の見学やビデオの上映、動物の解説など、団体対象にレクチャーします。

### 友の会

年4回以上の例会で身近な生き物を観察したり、飼育体験など、楽しみながら動物や自然を学びます

このほか、夏休みにも楽しい教室があります(6Pに掲載)。参加ご希望の方は事前にご予約ください! ■問い合わせ ☎ 56-3500

## キンパンジー



### サンゴと双子のダイヤとサクラ

昨年4月にチンパンジーのサンゴ(34歳)が双子の赤ちゃんを出産しました。

国内の動物園では80年以上にわたってチンパンジーが飼育されていますが、双子の出産例は、わずか5例しかありません。中でも、母親が育てて無事に2頭とも成長したのは、これが国内初の快挙であり、非常に貴重な成功例です。

双子のダイヤとサクラは、お母さんに抱っこされているだけでなく、最近では活発に遊ぶ姿も見られるようになってきました。チンパンジーは人と同様、長い期間をかけて成長しますので、しばらくは可愛らしい姿がご覧いただけます。



▲シルバーの方たちのおかげで、施設はいつもキレイです



## アミメキリン

今年の4月、アメリカのマイアミから2歳のオスのキリンがやってきました。公募により「リントロウ」というすてきな名前を付けていただきました。好奇心旺盛ですがまだまだ子どもなので、以前からいる3頭が獣舎から出て行ってしまおうと、心細いのか不安げに寝室をウロウロと歩き回ったりしています。

現在は、シマウマやセーブルアンテロープとの同居訓練も順調に進み展示場に出ています。リントロウには将来、子孫を残すという大きな役割が期待されていますが、今はのいち動物公園の環境に慣れ、大きくなると楽しく育ってほしいと願っています。

## 小学校との連携

香南市の「自慢さがし」で、動物公園がランクイン!各学年が知りたいことや、ボランティアガイドを目指しているいろいろな体験をしてきました。



## 知るともっと楽しい

四国山地に源を発し、平野を潤しながら南流する数々の河川、豊かな海岸線に彩られる雄大な太平洋。香南市には自然の仕組みやルールを学ぶ豊かな教材が溢れています。のいち動物公園には、動物から学ぶアラカルトがあります。



## もっと学ぶ

## 飼育職員の話

